

2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月14日

上場会社名 技研ホールディングス株式会社
 コード番号 1443 URL <http://www.giken-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 佐々木 ベジ
 (氏名) 佐々木 ベジ
 TEL 03-6635-1839

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,018	6.3	156	41.3	279	26.3	209	29.9
2025年3月期第1四半期	1,087	8.3	110		221	137.5	161	199.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 305百万円 (2.0%) 2025年3月期第1四半期 311百万円 (8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	12.88	
2025年3月期第1四半期	9.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	16,302	11,203	68.7
2025年3月期	16,164	10,916	67.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 11,203百万円 2025年3月期 10,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		1.10	1.10
2026年3月期					
2026年3月期(予想)		0.00		1.10	1.10

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	0.1	600	3.8	750	2.6	480	2.4	29.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	16,237,977 株	2025年3月期	16,237,977 株
期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,519 株	2025年3月期	3,441 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	16,234,478 株	2025年3月期1Q	16,234,678 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による資材価格の高騰もありますが、インバウンド効果、雇用・所得環境の改善等により景気の穏やかな回復がみられました。一方でガザ地区の紛争やウクライナ情勢が続いていること、トランプ関税等米国の通商政策、中国の景気不安など、世界情勢は依然として予断を許さない状況が続いております。当社グループの主要事業である建設業界におきましては、民間設備投資は一部回復傾向が見られるものの、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇、受注競争の激化により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは、社会資本整備の一翼を担う企業集団として、自然災害の復旧支援、医療施設の改修事業等、国民の安全と豊かな暮らしの土台形成のための事業展開を行ってまいりました。

この結果、受注高につきましては、前年同四半期比70.6%増の2,148百万円、売上高につきましては、前年同四半期比6.3%減の1,018百万円となりましたが、固定費用の削減等により、営業利益につきましては、前年同四半期比41.3%増の156百万円、経常利益につきましては前年同四半期比26.3%増の279百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同四半期比29.9%増の209百万円となりました。

当社グループの前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	2,139,345	1,259,715	1,087,338	2,311,723
当第1四半期連結累計期間	2,385,002	2,148,974	1,018,990	3,514,986

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(土木関連事業)

法面保護工事が主体の当事業は、受注高につきましては昨年よりも受注高が大幅な増加となり、前年同期比540.2%増の309百万円、売上高につきましては前期繰越工事及び当期受注工事の進捗が進まず、前年同期比13.8%減の188百万円、営業利益につきましては、前年同期比27.7%減の32百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	254,993	48,305	218,312	84,986
当第1四半期連結累計期間	434,364	309,272	188,273	555,363

(建築関連事業)

医療施設向けの放射線防護・電磁波シールド工事等が主体の当事業は、新築物件・改修工事等の物件数が増加しており、受注高につきましては前年同期比74.6%増の1,447百万円、売上高につきましては進捗が進まず、前年同期比5.4%減の503百万円、営業利益につきましては、前年同期比72.7%増の98百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	1,709,995	828,951	531,998	2,006,949
当第1四半期連結累計期間	1,851,979	1,447,671	503,209	2,796,442

(型枠貸与関連事業)

消波根固ブロック製造用型枠の賃貸及びコンクリート二次製品の販売が主体の当事業は、受注高につきましては前年同期比3.0%増の372百万円、売上高につきましては前年同期比3.0%減の307百万円となり、営業利益につきましては、前年同期比8.9%増の87百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	171,977	361,404	317,121	216,260
当第1四半期連結累計期間	91,796	372,187	307,759	156,224

(その他)

その他の分野には、不動産賃貸事業、海外での事業等をまとめてその他としております。受注高につきましては前年同期比5.8%減の19百万円、売上高につきましては前年同期比0.8%減の19百万円、営業利益につきましては前年同期比33.2%減の3百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	2,378	21,054	19,906	3,526
当第1四半期連結累計期間	6,861	19,843	19,747	6,957

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、137百万円増加し16,302百万円となりました。増加した主な要因は、投資有価証券の時価評価額の増加等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、149百万円減少し5,099百万円となりました。減少した主な要因は、支払手形、借入金の減少であります。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加が95百万円、配当による剰余金の減少が17百万円、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が209百万円であったこと等から、前連結会計年度末に比べ、287百万円増加し11,203百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント増加し68.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、業績が概ね予想通りに推移しているため、現時点では2025年5月20日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想の動向につきましては、引き続き精査を進めてまいります。受注動向、事業環境、繰延税金資産の回収可能性等を慎重に見極めつつ業績予想に修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。これらの業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,648,906	1,789,788
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	1,675,609	1,388,938
有価証券	215,266	216,040
棚卸資産	516,697	509,377
その他	33,715	40,118
貸倒引当金	△7,308	△7,579
流動資産合計	4,082,888	3,936,684
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,823,761	4,815,732
その他(純額)	1,311,409	1,323,920
有形固定資産合計	6,135,170	6,139,653
無形固定資産		
その他	1,429	1,257
無形固定資産合計	1,429	1,257
投資その他の資産		
投資有価証券	5,911,023	6,187,962
その他	95,769	98,422
貸倒引当金	△61,342	△61,342
投資その他の資産合計	5,945,450	6,225,042
固定資産合計	12,082,050	12,365,953
資産合計	16,164,939	16,302,637
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,121,741	1,010,282
1年内返済予定の長期借入金	537,493	501,712
未払法人税等	141,750	221,391
契約負債	166,739	99,441
引当金	31,124	46,130
その他	261,812	299,964
流動負債合計	2,260,660	2,178,922
固定負債		
長期借入金	2,766,632	2,675,403
退職給付に係る負債	83,353	81,638
引当金	11,748	8,253
繰延税金負債	90,279	119,956
その他	36,236	35,236
固定負債合計	2,988,249	2,920,486
負債合計	5,248,909	5,099,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,840
利益剰余金	7,991,477	8,182,802
自己株式	△869	△884
株主資本合計	10,584,448	10,775,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,134	433,609
退職給付に係る調整累計額	△6,553	△6,138
その他の包括利益累計額合計	331,580	427,470
純資産合計	10,916,029	11,203,228
負債純資産合計	16,164,939	16,302,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,087,338	1,018,990
売上原価	796,186	712,263
売上総利益	291,151	306,726
販売費及び一般管理費	180,723	150,688
営業利益又は営業損失(△)	110,428	156,038
営業外収益		
受取利息	54	69
受取配当金	120,885	134,266
その他	3,341	2,218
営業外収益合計	124,282	136,555
営業外費用		
支払利息	13,436	12,347
持分法による投資損失	-	494
訴訟関連費用	203	-
その他	-	631
営業外費用合計	13,639	13,473
経常利益	221,071	279,119
特別利益		
投資有価証券売却益	11,809	14,113
固定資産売却益	-	14
特別利益合計	11,809	14,128
特別損失		
固定資産除売却損	17	-
特別損失合計	17	-
税金等調整前四半期純利益	232,863	293,248
法人税、住民税及び事業税	78,106	100,720
法人税等調整額	△6,284	△16,654
法人税等合計	71,822	84,066
四半期純利益	161,040	209,181
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,040	209,181

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	161,040	209,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151,007	95,474
退職給付に係る調整額	△604	414
その他の包括利益合計	150,403	95,889
四半期包括利益	311,444	305,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	311,444	305,071
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、株式を追加取得し重要性が増したFSK人材育成株式会社を持分法の適用の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたり 認識する収益	218,312	486,772	-	705,084	-	-	705,084
一定時点で認識す る収益	-	45,225	25,702	70,928	2,691	-	73,620
顧客との契約から 生じる収益	218,312	531,998	25,702	776,013	2,691	-	778,705
その他収益	-	-	291,418	291,418	17,214	-	308,633
外部顧客への 売上高	218,312	531,998	317,121	1,067,431	19,906	-	1,087,338
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	218,312	531,998	317,121	1,067,431	19,906	-	1,087,338
セグメント利益	44,805	57,169	80,432	182,407	4,665	△76,645	110,428

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△76,645千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたり 認識する収益	188,273	444,207	-	632,480	-	-	632,480
一定時点で認識す る収益	-	59,002	21,888	80,890	2,827	-	83,718
顧客との契約から 生じる収益	188,273	503,209	21,888	713,371	2,827	-	716,199
その他収益	-	-	285,870	285,870	16,919	-	302,790
外部顧客への 売上高	188,273	503,209	307,759	999,242	19,747	-	1,018,990
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	188,273	503,209	307,759	999,242	19,747	-	1,018,990
セグメント利益	32,410	98,717	87,594	218,722	3,114	△65,798	156,038

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△65,798千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	35,950千円	27,006千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。